

会 議 録

会議名称	七戸町役場新庁舎建設事業にかかる住民説明会
開会日時	令和5年6月30日(金) 18:00
閉会日時	令和5年6月30日(金) 19:45
場 所	柏葉館 多目的ホール
出席者	町長、副町長、教育長、総務課長、財政課長、企画調整課長、建設課長、生涯学習課長、商工観光課長、財政課職員
参加者	33名
次 第	1 あいさつ 七戸町長 小又 勉 2 説明 3 質疑応答
資 料	【七戸町役場新庁舎建設基本構想(案)】
その他	1 ボイスレコーダーの関係で聞き取れない部分については、省略(～)しておりますので、文章に繋がりが無い箇所があります。 2 庁舎建設事業および荒熊内開発地区関連以外の質疑応答については、省略しております。 3 11ページの2行目、「 <u>50年</u> ぐらい」は「 <u>30年</u> ぐらい」の誤りでした。

○司会

それでは定刻となりましたので、只今から七戸町役場新庁舎建設事業にかかる住民説明会を開催致します。はじめに、本日の出席者を紹介します。

(以下、出席者紹介のため省略。)

○司会

開催に先立ちまして、小又町長より一言ご挨拶申し上げます。

【次第1 あいさつ】

○町長

おぼんでございます。

役場の新庁舎建設にかかる住民説明会ということで、ご案内致しました。多くの方々に出席頂きまして、大変ありがとうございます。

合併当時の議員で、当事者の方々も何人かいらっしゃいますし、高校生ですか、ワークショップをやって頂きました。おそらくそれで興味を持っておいで頂いたと思います。大変ありがとうございます。

さて、コロナも、あれだけの猛威を振るっておりましたが、だいぶしぼんできました。しかし完全にゼロではありません。専門家からは第9波とも言われておりますし、町中を歩くと、まだまだマスクをしている人も結構多いです。お互いに気を付けたいものと思っております。

それと今、大変なのは物価高騰です。特に電気など高騰していますが、それでも徐々に普通の生活と申しますか、これまでの日常がだんだん戻ってきつつあって、大変うれしく思っています。夏祭りや秋祭りも、予定通りコロナ前の範囲で開催する予定です。非常に楽しみにしています。

さて、今日の説明会ですけれども、思い出せば、平成17年3月31日に合併を致しました。2年ぐらいかけていろんな協議をしました。決めなければならぬものがたくさんありましたが、おかげさまで決定をし、財政の関係で3月31日にスタートしました。それほど難儀をしたという記憶はありません。特に名前や庁舎についても、お互いの手を取る、比較的順調に進みまして、スタートをしました。

そして今、18年目に入っております。そこで浮上したのが、役場、本庁舎の耐久性の問題です。その当時はあまり気にすることではありませんでした。専門家に躯体調査をして頂いたら、コンクリートの劣化が進んでいるということで、とりあえずは耐震補強を致しました。これでしばらくはいいのですが、その劣化の度合いにより、令和15年までが限界という結論になりました。ですから、後10年しかありませんので、この間に、機能のしっかりした本庁舎を新たに作って、住民の生活や暮らしに備えていかなければならなりません。コンクリートがそんなに腐るのかと思われる方もおられるかと思いますが、一旦しっかりした機関からデータが出ますと、これは当然、もう使えませんので、建て替えをしなければなりません。

したがって今から、基本の基本にかかわる、いろんな協議をして段階を踏んで、できれば令和15年の2、3年前にはしっかりした本庁舎を作らなければならない、という段取りになりま

して、これに向けての住民説明会です。本庁舎が駄目なら七戸庁舎はどうかというと、コンクリートは問題ありません。まだ令和4 9年まで大丈夫ということです。たった10年しか違いませんが、向こうは昭和43年の建築、こちらは10年近く遅いのですけれども、ここは土砂災害警戒区域ということです。役場機能、防災など全て、ここに設置すると何かあった時にその機能が果たせない、となれば、行政としての機能が果たせません。

ですからここも行政機能としては使えませんが、普通の集会とか、今考えているのは図書館ですとか、そういったものには使えます。事前に申請頂いて使って頂く、というようなこともできます。ただ、防災機能、行政機能はそうはいきませんので、ここも使えません。

そこで、これからどうしていくのかについて、基本的な構想を策定していく、ということになります。これから担当者に説明をさせます。その後、皆さんから質問を受けて協議をしていきたいと思っておりますが、頂く意見、さまざまあろうかと思っております。そういったものは、大きくても小さくてもしっかり受け止めて、結論を導くまでの間に、それらを全部検討に加えて、最終的な結論につなげていきたいと思っております。

どうぞ忌憚のない意見を出して頂きたいと思っております。よろしくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

○司会

ありがとうございました。それでは説明に入ります。よろしくお願い申し上げます。

【次第2 説明】

○事務局 ※資料説明 6/28 中央公民館 議事録参照 省略

○司会

ありがとうございました。続いて、質疑応答に入る前に準備いたしますので、しばらくお待ちください。

【次第3 質疑応答】

○司会

これより質疑応答に入ります。ご発言のある方は挙手願います。

○住民

今の説明で大体の流れは分かりました。いっぱい聞きたいことはありますが、町民に寄り添うアットホームで、というのはどういう意味なのでしょう。アットホームというのは。

○事務局

基本理念の、町民に寄り添う便利でアットホームな庁舎、のことだと思っております、よろしいでしょうか。

○住民

そうです。

○事務局

誰でも気軽に役場庁舎を訪れて頂きたいという思いと、災害や防災を含めて、町民に寄り添っていききたいという思いを込めて、このような表現にさせていただきました。

○司会

次の方どうぞ。

○住民

8ページに、窓口のワンフロア化とありますが、これはどういうことですか。庁舎そのものが、全部ワンフロアの建物になるのですか。今の説明を聞いて資料を見ても、建物の構造が全然分かりません。これで34億もかけるというのは、私にはピンときません。ここにワンフロアがどうのとあるけれども、役場庁舎は全部、1階で終わるという意味なのですか。

○事務局

34億円の事業規模に関しては、国交省の積算に基づいています。もちろん今おっしゃる通り、これからいろいろな詳細について詰めていきます。ワンフロア化というのは、この空間の中に、町民課があって税務課があって、いろいろな窓口業務を行う担当課をワンフロアの中に続けて並べていきます。そうすれば、課の先も見渡すことができます。主に窓口業務を行う課を、一つのフロアにまとめるということです。それ以外の窓口によく来ない課は2階に置いて、ほとんどの町民が使用される窓口に関しては、1階のフロアに全部まとめる、というような考え方です。

今後、基本計画、基本設計の中で詳細なものが出てきます。着々と進めていけば、その部分も皆さんにご説明できるかと思えます。大変申し訳ありませんけれども、今の段階では、まだここまで、ということになります。以上です。

○住民

ワンフロアについて、むつ市の市役所、私は、ああいうのがワンフロアだと思っていて、今言われたような、2階になるなどでそれがワンフロアだとは思っていませんでした。そういう感覚で聞いていました。

ただ、この計画だと私は納得できない。合併して今まで20年近く、天間と七戸、本所と支所ということでやってきて、今更、なぜ一緒にならなければならないのか。かえって分散して、建てる建物の経費を節約した方がいいのではないか。町民のために。今は少子高齢化の時代です。銭がいくらあっても間に合わなくなります。財政は厳しくなる一方です。それなのに果たして34億もかけて庁舎を建てるべきか、そこは検討して頂きたいと思えます。私はそれよりも、病院をどうするかということを考えて頂きたい。去年の災害の時、ここに写真があります

が、あと1 mそこそこで病院に水が上がっていたわけです。庁舎を建てても住民の命は守れません。病院を建て直すなどの対策を講じれば、入院患者の命を守れるのです。そういうこともあるから、もう少し、検討して頂きたいと思います。

○町長

今まで通り二つでいったらいいのではないかと、その方が経費かからないではないか、ということですが、一つの庁舎を維持管理する場合と、二つある場合との比較で、これを合理化するために一か所にまとめるということです。特に今、人口がだんだん減少してきています。ですから、今ある二つのものを一つに集約して、新しい新七戸の庁舎を作りたい、という提案をしています。もちろん、その比較検討、試算はこれから順次していきますけれども、合理化のために新庁舎を一つ、ということをご理解を頂きたいと思っております。

例えば今、天間林の本庁舎を更地に、そうなりますと当然、支所機能も、ここは何もいらないというわけにはいかないと思います。どうしても二つ必要になってきます。そういったことはできるだけ避けたい。皆、すべてに利便性をというわけにはいきませんが、大多数の方々が、これが我々の庁舎だとなるように、一か所に集まって、いろいろな、手続きを行う、そのように進めていきたいと思っております。それからおっしゃる通り、一昨年ですか、大変な豪雨災害の時に、七病は大丈夫かと、後もう少しだからと、慌てて発電機だとか、そういった重要なものに土嚢を積むなど致しました。今後どんな災害があるか分かりません。非常に心配な面もあります。下流域の流水については、よく通るよう、疎通を図るよう県にお願いをして、よく水がはけるような体制はとったつもりですが、果たして万全かどうか、これも心配な面があります。

ただ、病院については町の施設ではありません。中部上北広域事業組合の施設です。わが方で建てたいといっても、そう簡単にはいかない。両町の協議が必要ということになります。できれば安心して入院できるような、そういったものを作りたいと思っておりますが、非常に歯がゆい面もあります。実は、協議には入りつつあります。あの病院は昭和41年に作られました。ですから47年経っています。耐震補強は致しました。あの時点と今の躯体調査とは少し違っています。いつまで大丈夫かというコンクリート自体の調査はしていません。

ただし、耐震補強した時点で15年から20年は大丈夫でしょう、という業者からの説明はありました。ですから今度は、果たして大丈夫かという、コンクリート自体の調査もしていかなければなりません。

その結果によっては、あるいは建て替えか、あるいはこれだけ人口が減っていますので、今、上十三まるとネットという、十和田中央病院と三沢病院と七戸病院と、三つの病院でネットワークを組んで、さまざまな対応、ドクターでも看護師でも、それから手術対応、すべて連携を取ってやることにしていますが、それともまた少し違う、今後は七病についても検討に入らなければならないと思っています。

○住民

建て直した場合には、七戸と天間に支所を設けるのですか。どうなるのですか。それともう一

つ、病院の問題ですけれども、中部の問題だと言われましたが私は違うと思っています。人間が死んだときにどうするのですか。やる気があるかないかの問題です。中部の管理者でしょう。命を守るかだと思います。支所を設けるか設けないか、その辺りお願いします。

○町長

支所を設けないため、一か所で役場機能を果たせるようにするために今、建てるということです。わざわざ支所を設けるとか、本庁、支所という時代ではなくなってきました。人の数も減っています。ですから、そういうことをしないために今、これをやるということです。

それから、もちろん中部の施設ではありますけれども、いいか悪いかは別として今、躯体調査をしないと結論が出ません。あと10年持つのか20年持つのかなど、しっかりとした結論が出たら出たなりの協議に入りますが、その前にできるものではないです。仮に結果が出たとして、コンクリートが弱くなっている、劣化しているとなった場合、ではこれに何か塗って強度を増せるかという技術は今でもないそうです。一旦それが出ると、もうどうしようもない。やはり建て替えか、そういったものしかない。いくら補強しても、それとまたコンクリートの劣化は違うということだそうであります。

○司会

他にご発言がある方いらっしゃいますか。では先に前の方どうぞ。

○住民

7ページについて。A区域とB区域について、これから検討されるということですが、その他の関連施設、例えば公民館とか、将来的に、このどちらかに入ってくるのかどうか、現在、決まっているのですか。それをお聞きしたいと思います。

○事務局

どちらか一方に庁舎を建設し、もう一方は空きます。そもそも公共施設の建設用地ですので、将来的には公共施設を集約しますが、今現在、この施設とこの施設がここに来ます、というのはまだ決まっておりません。今後、検討するということになります。

○住民

ではそれに関連して。町の第一次開発計画の、20年後のイメージ図を見たのですが、それには建物がいくつかありました。あくまでもイメージなのでそこまでは確定していませんが、いくつかの建物が入る可能性があるとして、そのスペースはあるのでしょうか。

○事務局

お答え致します。この区域は6町歩ございます。今は駐車場、そしてアリーナの建設に取り掛かっております。スペースとして残っているのがA区画とB区画、どちらかに庁舎、またそれに付随する施設を建設するために動いておりますが、その庁舎に、こういった機能を持たせる

かという、具体的なことはまだ確定はしていません。

それによって必要な、例えば公民館機能があった方がいいとか、そういった場合には、それらを配置できるようなスペースとしては、十分確保できていると思っております。

○住民

わかりました。

○司会

続いて、後ろの手をあげていた方どうぞ。

○住民

3ページについて、どういう意見がでたのか。ただこういうプロセスを出すのではなく、どのような内容がありましたか、ということを知りたい。高校生などはまだ歳が若いから、理想的な事ばかりだったのではないか。

○事務局

まず、町民アンケートでは、このような設問をしております。役場に来る手段に、どのようなもの使いますか。車で来ますか、徒歩で来ますか、という質問と、役場にきた時に、何の用事で来ましたか、という質問をしております。役場に来る用事で一番多かったのは、戸籍や住民票など、窓口に来る用事という回答が多かったです。あと、今の庁舎について、利用してみても不便だと思うところはありますか、という質問を致しました。職員として中に入っていると、どうしても我々では気付けない部分も結構あると思いましたので、そういう質問を致しました。あと、新庁舎を建てるとした場合に、どのような機能や設備があったらいいですか、というアンケートを取らせて頂きました。

あと、町民ワークショップで出た意見には、町民の交流スペースや、自由に使えるロビーとかを整備してもらいたい、事務手続き以外に、気軽に立ち寄れる施設にしてほしい、というご意見がありました。あとは、非常時の避難所として、七戸の町内だけではなく町外からの受け入れも検討してほしいという意見と、先程のワンフロアについて、手続きに来た際に、あちらこちらと遠い所に行かなくても済むように、手続きが簡単に済ませられるといった、利便性を向上してほしいという意見、地元の木材を使用するという意見、新しい町づくりの拠点として、この新庁舎建設が産業発展に寄与することに対して期待感が持てる、といった意見がございました。高校生のワークショップでは多くの意見を頂きました。誰でも使い易くて、町民の人生に寄り添ってくれるような庁舎が建てほしいとか、最先端で、どこにもないものを目指してほしい、木造なり、バリアフリーとかユニバーサルデザイン、そういうことが充実してほしい、などの要望がありました。

あと、施設にぬくもりや温かみがあればいい、建物の中に木が立っていればいい、などの意見もありました。

その他にもたくさんありますが、このアンケート結果やワークショップの内容について、今は

まだホームページなどで公表していませんが、この基本構想を策定していく中で、順次、ホームページなどでお知らせしたいと思っております。以上です。

○司会

手をあげている方どうぞ。

○住民

反対意見になりますから、町長、しっかり聞いてください。

(全体的に聞き取れず ～ 合併後について、産業文化まつりへの出店、廃止などについて、畜産組合との用地の買収交渉時の経緯、庁舎建設場所についてなど)

○町長

順を追って説明したいと思います。まず、産業文化まつり、いわゆる農産物の販売、野菜の販売、そういったものについては、確かに、スポーツセンター、開発センターなどでやっていましたが、車をそこまで持って行けば駄目だとなって、非常に利便性が悪くなってしまいました。これは反省しています。今、反省してもどうしようもないのですが、これはお詫びを致します。そうこうしているうちに今度は、宮大さんでどんどん出すようになっていきました。今度は、この近くでやっても、あるいは道の駅周辺でやっても、物は宮大さんの方が安いし豊富だ、ということでそちらの方に流れていきました。ですので勢いで出す人が、だんだん少なくなってきたと考えています。ただ(～)、そういったものまでは果たして宮大でやっているかどうか、その希望というのはこれから調査してみないと分かりませんが、それは調査をして、ちょうど漬物の時期ですとか、その時々に対応について、いろいろ検討したいと思います。

その為に、道の駅周辺に網を張って、あそこでもできるように整備はしておりますが、これはこれから検討して努力していきたいと思っております。それから役場庁舎の関係については、どうに説明しました。合併当時は、二つある庁舎のうちどちらを本庁舎にしますか、どちらを支所にしますか、あるいは名前をどうしますか、などについて、かなり時間をかけて検討しました。そして二つあるうちの一つが本庁舎になりましたが、その本庁舎のコンクリートが今、後10年しか持ちませんとの結論が出ました。これは行政が使う建物であれば、そういう結論が出たものを無理して使うわけにはいきません。必ず、それは使わないで、別なものを作らなければならないので、本庁舎の建て替えについて今、こうして皆さんに相談しています。

場所については、畜産組合さんの場所を叩き台として出していますけれども、これで決定ということではありません。これからいろいろな意見を頂きながら、最終的に決めていきたいと思っております。それから、どっちが交渉したのか、どっちが申し入れしたのかについて。おかげさまで七戸十和田駅、これは、富士前町長、議員さん手を取り合っていました。できて4、5年は、ほとんど建物が建ちませんでした。

その原因は何かというと、西からの風が吹くと、畜産の独特な臭いがある、ハエもくる。良い所だからと見に来る人はいっぱいいました。ところがこの臭いだとねえ、ということでした。実は、あの駅周辺の整備には55億ぐらいかかっています。せっかく先人の方々が誘致をして

駅が出来た、周辺整備は50数億かけてやった、やったはいいが、ほとんど建物が建たないとなると大変だと。その原因は何かというと、そういうことでした。その当時の畜産事情を考えると非常に心苦しい思いがありますが、これからの時代を考えると、それは考えていかなければならない。北側に豚の施設がありました。あれはその前に廃業したみたいで、あの臭いはなくなりましたが、あれによってもかなりの制約がありました。そういう環境面の改善がなされてくると、とたんにアパートなり民間の住宅などが建つようになりました。

当時は、イオンの駐車場まで臭いが来ていました。いやあすごいなと、駅を降りた人は、なんだ、これはと。そのようなこともありました。そういった様々なことを勘案して、そして、いつか繁栄がないと、せっかく作った駅、または道の駅、これらの開発全体が進まないという思いがありました。そして買取交渉、畜産組合さんも丁度、経営的に畜産事情が悪くなっている、ということもありました。それで場所の取得ということになったわけです。ですから、町中が悪くなったというのは重々お詫び申し上げます。

なかなかこれは復活させるというのは大変なことですけれども、先程おっしゃった病院だとか、そういったものは何としても守っていかないと、あれもなくなるとなる、ということもありますし、時代の流れで、いかんともしがたい面もありますが、お詫びを申し上げながら、一つの説明とさせていただきます。

○司会

次に発言のある方いらっしゃいますか。

○住民

8ページにあるユニバーサルデザインについて、最近よく聞きますが、著名なデザイナーに頼むと思います。最終的には四角いビルではなくて、彦根などの、あいうお城のような形とか、デザインが決まったら、アンケートで町民に示して頂きたいと思います。単なる四角とかではなくて、京都、名古屋、札幌などは、変わった、重厚な感じの、はっと息をのむようなデザインです。決まったら何種類か、どういうデザインがいいでしょうかと、町民に示して頂きたいと思います。

○事務局

ユニバーサルデザインについて。例えばバリアフリーは、体に障がいがある方が使いやすいようなデザインですが、ユニバーサルデザインは、もう少し広がったイメージで、どんな方が来ても使いやすいようなデザインです。最近では、いろいろな公共施設に取り入れられています。アンケートなどでも、誰でも使いやすいようなデザインにしてほしいときています。デザインというのは、その、形だけではなくて。

○住民

何となく分かります。

○事務局

もう一つ建物のデザインに関して、有名なデザイナーに頼むなど、いろんなやり方がありますが、それについても今後、検討していきたいと思います。もちろん有名なデザイナーとなれば費用もかかりますので、その辺りも事業費を考慮しながら検討していきたいと思います。

○住民

用地の問題ですけれども、これだけの面積を舗装してしまうわけですよね。そうすると雨水はどこに流れるわけですか。イオンの所は国道を超えて出ていますが、今のこの面積だと、どこへ流れていくのか。それと一つお願いがあります。

今日も午後から、昨日もたくさん雨が降りましたが、道の駅の花のある所の駐車場、あそこは排水が悪いです。ちょっと雨が降ると足首のあたりまで水が溜まります。私はしょっちゅう行くのですが、少しでも雨が降ると長靴を履いていかなければならないような時もあります。その排水の件で、庁舎も、アリーナの分の排水がどこへ流れていくのか、そこをお聞きします。

○事務局

お答えいたします。雨水等の排水ですけれども、7ページの公共駐車場の所、地下に一時貯水槽を設けております。その後、町道荒熊内大通り線の北側、今は導水路で自然に流れていきますが、事前に、荒熊内に貯水槽を設けて、流れている排水路に、その流末排水路を整備しながら、段階的に、時間的に緩衝しながら流れるような整備を考えております。今、盛んに工事しております駐車場の地下の、一旦貯留する調整池は、去年、完成しております。以上です。

○住民

私が聞いた話では、中野川に流すと聞きましたが、それとは別なのですか。

○事務局

最終的に流れ込むのはその通りです。ただ、流れる系統は、営大の向こうに一回貯留池を設けている所と、今現在、荒熊内の開発エリアのアリーナ側の部分については、北側の貯水槽に一回集まるようにして、分散させるようにしています。

○住民

となると、大体どれぐらいの雨量を計算しているのですか。何mmぐらいまで対応できるのですか。この面積だと大変だと思います。今までは地下に入っていたが、ここはほとんどアスファルトになるので。

○事務局

もともとが、牧草地とか砂利道の関係で、営大の方と北側の方に調整池を設けていましたが、今回、駐車場スペースとかアリーナの舗装面などは、砂利と違って吸水量が少なくなりますので、当然、流入量が多くなります。その為に、公共駐車場の地下に緩衝の調整池を設けている

という状況ですが、正確な数字は今、手元にございませんけれども、雨量等の計算については、50年ぐらいの間に一回くる量でも耐えられるような計算をしています。

(※30年の誤り)

○事務局

道の駅の、雨が降った際に水が溜まる件についてお答えします。現在の道の駅には、大型トラックですとかバス等、大型車の利用がかなり多く、そのため駐車場にくぼみができていて、かなりの水が溜まるということはこちらでも確認しております。昼間は車の出入りがかなり多いので、今後、区域を分けて、その辺りの路面改修をしていく計画を、今、練っている所でございます。以上です。

○司会

次に発言のある方、挙手をお願いします。まだ当てていない方、どうぞ。

○住民

3ページの住民へのアンケートについて、取った方法を伺いたい。郵送だったのか、来庁した方に直接、紙を渡したのか。あと、今回のアンケートとかワークショップは基本構想の策定にあたり、とありますが、今後のプロセスの中で、町民の声を反映させられるチャンスというのは、他にあるのかどうかを教えてください。

○事務局

町民アンケートに関しては、1600人を無作為に抽出して、郵便で発送しています。町民の声ですが、このような説明会で頂いたご意見とか、あと、パブリックコメントで頂いたご意見とか、そういったものを参考にして事業を進めていきたいと思っております。

○住民

アンケートの回答率が低いのが気になりました。もし今後、同じようにアンケートを実施する予定があるのでしたら、回答の方法をもう少し簡単に回答できるようにして、声を逃すということを少なくして頂きたいと思います。やはりせっかく作るのであれば皆さんに歓迎されるようなものになって頂きたいので、住民の皆さんが思っている不安などを一つ一つ払拭していくのがすごく大事だと思います。なので、今日の質疑応答で出た財政の話ですとか、雨量の具体的な数値もそうですし、そういった出たことを、やって頂けるのであれば次の説明会の時に、こうなりました、こうなります、予定ですというように、その都度、町民の皆さんと共有して、今後の工程全てにおいてヒアリングし、ヒアリングしたものをもとに検討して、それを説明する、リターンをする、というプロセスを丁寧にして頂きたいと思いますので、よろしく願います。

○司会

他に発言のある方、挙手お願いします。まだ当ててない方。

○住民

今日は役場建設説明会ということで来ました。話を聞いていると皆さんは反対意見が多いようですけれど、私は旧天間林、旧七戸町を総合して、現在の七戸町ということを見ると、今の説明の通り、荒熊内地区に一つの庁舎を建てることに大賛成です。

町長も進めるように。年数をみましたら令和11年度ということですが、もっと早く、素早くできないものでしょうか。そうすれば、後の内容は、設計図が出てからその内容は知らないとか何かと言っても始まらないと思います。とにかく今よりは早く、11年とは言わないで、10年、8年でもいいですから、早めをお願いします。以上です。

○司会

発言のある方、挙手お願いします。

○住民

10ページですが、この本庁舎を解体した場合、その後、その土地には何か建物が建つのですか。教えて頂きたいです。

○事務局

本庁舎に関しては、4ページに本庁舎の建築年があります。母屋が昭和43年、その後、2回増築しました。今ある議会棟の所が平成2年で、三つに分かれて構成されております。今、強度不足で問題になっている所が昭和43年に建築された庁舎で、その2階に一部建っていますので、昭和43年と52年に関して強度不足ということになります。平成2年に増築した建物は、まだ耐用年数が残っていることから、今後、活用の方法を検討していくこととしています。残ったこの古い施設は、将来的には解体、というような考え方でいます。以上です。

○司会

他に発言のある方は挙手お願いします。

○住民

(全体的に聞き取れず ～ 庁舎の建築地、建築費用、周辺地域との関係性について)

○町長

さて、どう回答したらいいものか、時代の流れで、例えば、かつては上十三地域の中心地域で、造り酒屋が三つもありました。ところが、ここでさえ土砂災害警戒区域で、崩れる可能性があるということになりました。しからば下の広い所、これは洪水の場合の浸水区域に指定されていて、新しいもの何も建てることができないのです。何かあれば水が、50年に一度、あるい

はまた、250年に一度の雨量があれば、ほとんど駄目だということです。

時代がそれだけ変わってきています。その時代の流れに沿って今、荒熊内地区がいいのではないかと相談しています。決まったのかと言いますが、決まってはいません。いろいろな大きい意見や小さい意見を頂きながら、それを検討して、最終的に、もう少し時間をかけて決めていきたいと思います。

何もないと叩いても何も出ませんので、叩き台としてこういう図面を出しました。理解をして頂きたいと思います。

○司会

先程、手をあげていた後ろの方どうぞ。

○住民

おぼんでございます。●●でございます。質問をさせて頂きたいと思います。今回、役場庁舎の建設ということで、説明会を開いて頂いたことは、町民の皆さんにとっても、分かりやすい、そして開かれた七戸町づくりにおいて、最高にいい機会だったと思います。

いろいろなご意見が出ておりますけれども、天間林と七戸町が合併して18年になります。もうそろそろ七戸だ、天間だという話は、だんだん少なくなってきましたし、当然、新幹線の駅舎も来ているわけです。そういうことを含めていろんなことを考えてみますと、右や左の話ではない、一本化された七戸町とした時に、今、庁舎も古くなって、コンクリートの持ち具合もまずいとなって新しい庁舎を建設するわけですが、そんな時に、この合併を基本にして思えば、今後の在り方として、やっぱり荒熊内地区を新七戸町として、当然そこに庁舎を持っていくのは本当ではないかと、非常にいいのではないかと考えています。

ただ、先程の町長の答弁に、役場庁舎の位置は決定していないとありました。確かに決定はしておりませんが、しておりませんが、あそこに持っていくのが多くの町民の方々の希望だと思えます。ですから町長、あまり遠慮しないで、この7ページにあるように、この図のAかBかぐらいでいかないと、またいろんな意見が出てくるわけです。皆さんに意見があるわけですから。それは大いにいいと思いますけれども、やはり町長自体がしっかりと腹を据えて、ここへ行くのだと。

先程、●●さんからも早く役場庁舎を建ててほしいと意見が出ましたが、私もそれには大賛成です。というのは、今のロシアとウクライナの関係で、いろんな資材が高騰しているわけです。1年でも早ければ、1億円か2億円ぐらい安く建てられるかもしれません。これだと使用するまでに5年も6年もあるでしょう。それよりも1年でも2年でも早く役場庁舎を建てて利用して頂ければと思います。

それから先程の事務局の答弁は、設計業者もあまり有名な人ではなくていい、との話でしたが、これも大いに結構なことだと思います。有名な人に頼んだ場合、設計料が高くつくわけですから。私は当然だと思います。青森県のどこからかでもいいと思います。そして安く設計してもらって、あまり、外側にタイルを張るとか、そういう時代ではないです。

これだけの強い災害がくるでしょう。どんな災害が来るか、竜巻みたいなものくるでしょう。

やはり役場は、打ちっぱなしのコンクリートでいいから、頑丈なのを作ってほしい。
それからもう一つ、役場には当然、議会も議場も必要なわけですが、旧七戸町の庁舎の議長席の裏の壁には、イタリアだかどこかのタイルを30枚ばかり貼っています、あれは一枚10数万ぐらいしました。確かに議会そのものは、それだけの（～）を付けてやらなければならないと思うかもしれませんが、私はもうそういう時代ではないと思いますから、どなたでも気軽に入れて、いろんな議論の会場にするぐらいの気持ちで建ててほしいと思います。あまり、赤い絨毯だとか、そんなのはなくして、できるだけお金をかけないで、頑丈で、町民の皆さんが使い易いような庁舎を建設してほしいと思います。

それもさっき言ったように、一日でも早く庁舎の建設に着工してほしいと思います。町長、意気込みはどんなものですか。場所についてです。もうちょっと、がりっと、かかってやらなければ。皆、ぐらぐらしています。34億もかけて作るのですから。皆、大変だなど。今、体育館も建てているし、また30億もかかるのかと。町民の皆さんは誰でもそう思います。そこをやはり町長は、がりっと、これは計画通りうまくいっているのだと、説明してほしいです。以上です。

○町長

がりっと、かかってやりたいと思っていましたが、先日、天間林地区の座談会がありました。やはりそれぞれに思いがあります。いろんな思いを聞きまして、今日は少し低姿勢で行かなくてはと思い、少し心を入れ替えて、わりと柔らかく言っております。

荒熊内地区はゼロカーボンの宣言をしました。できればこれから建てる庁舎は、屋根も壁も発電して、あそこは東北電力の電気をあてにしなくてもいいようなモデル地区にして、それから順次、広げていきたい、という構想も持っております。もちろん、頑丈に、尚且つ、あまりお金おかけないような、維持なりかからないような方向で考えてはいますが、今後、順次、いろんな意見を頂きながら、最終的には、決めるところはしっかり決めていかないと、あまり聞きすぎても駄目でしょうし、そう考えています。

○司会

他にご発言のある方、どうぞ。

○住民

今回の役場庁舎の建設に関して、ワークショップに参加したところから私は見てきましたが、こういう取り組み方が、これから必要なのかなと思います。荒熊内地区が建設予定地になっていることについて、納得していない人たちもいるようですが、そもそも都市計画や、荒熊内地区の開発計画を立てる時に、住民に、こういうことをやろうと思っているが、どう思いますかと聞くところからスタートしていれば、今になって、こういう話にはならなかったと思います。今回の役場の庁舎建設で、町は大きい決断をしたと思います。配置の段階から住民の声を聞く、ワークショップでどういうのがいいのかという住民の声を聞く、高校生の声を聞く、それを聞いた上で、ユニバーサルデザインとか、そういう住民の声に配慮したものをこれから作ってい

く、設計する、基本設計の前の段階で住民の声を聞いているのは大事なことだと思っています。これからの町政についても、様々な計画、いろんな計画が出てくると思いますが、その時に、形になってから住民に見せるのではなくて、まず形になる前に、こういうことについてこれから考えていこうと思っているけれども、皆さん何か意見ありますかという、今回のこの新庁舎建設に関する話の進め方を、ぜひ、これからもやってほしいと思います。

住民の声をいろいろ聞いた上で、取り入れられる意見もあるし、取り入れられないのものもあるかもしれません。右に左に逆なこともあるかもしれない。でも、こういう意見があったと、それを踏まえて出てきた答えがこれですと、そういう形を、これからもやってほしいと思います。

○司会

他にご発言のある方いらっしゃいますか。

○住民

何をするにもお金がかかる世の中です。この財源はどこにあるのですか。あの少ない町民からのすべての税金をあてるとか、国から補助金が出るとか、町有財産を処分するとか、何かあると思いますけれど、その辺りを手短にお願ひします。よろしくお願ひします。

○事務局

資料の9ページを開いてください。9ページの一番下に、総事業費34億円とあります。その隣に庁舎建設基金として、完成までに20億円を造成する予定です。4年度末において12億4千万、造成しています。もう一つが起債、借金ですけれども、これが13億円です。

これに関して、将来的にと説明しましたが、大体20年間で返済をしていくということです。あと一般財源が1億円です。庁舎建設に関して、国の補助金は基本的にはありませんけれども、ゼロカーボン、低炭素の観点、後は防災、通信関係とかDX、そういった関係では国の補助があります。使える補助金を一生懸命見つけて活用すれば、借金の13億円が、仮に12億になったり10億になったりします。

今後、基本計画の中でも、太陽光とかエネルギー関連など、どういったやり方でいくのか、屋根とか、町長は壁にもと言われましたが、そういった活用できる補助金を見つけて、少しでも将来に残す借金を減らして、事業を進めていきたいと考えております。

○住民

ありがとうございました。

○司会

他に発言のある方、挙手お願ひします。

○住民

今、叩き台として、総合アリーナを作っている南側に場所を想定して、皆さんに資料を渡して

いますけども、合併する時に、町名と本庁舎をどのようにするかという、この大きい二つについて合意できなければ合併できなかったわけです。

その時に天間林の住民は、農協の本所もなくなったこともあり、名前を我慢してでも、本庁舎は天間に置きたい、ということで合併したわけですが、この叩き台が出たということは、その時決めた本庁舎の場所というのは、最終的に議会が承認しなければいけないとは思いますが、住民がこれからの町づくりを進めていく上で、それにはこだわらなくていいと合意できれば荒熊内でもいいと、国であれば総務省あたりに確認をしてこういう資料を作っているかと思いますが、その場合、町名についても、本庁舎の住所を話し合いで変えていけるのであれば、町名も変えてもいいのか、できるのかだけ、お伺いします。

○町長

永久的に固定した庁舎、あるいはまた、町名ということではないです。私は合併協議会の会長でしたから、その辺りは何回も協議しました。その時点で、二つある庁舎のどちらを本庁舎、または支所にしますか、二つあるから本庁と支所は必要だということで決定した経緯があります。

これが固定して、未来いつまでも続くということではありません。それから町名ももちろんそうです。もちろん必要に応じて、いや駄目だとなれば、当然まな板に上がることにはなると思いますが、今のところ町名については、そういうお話は聞こえてきていませんので、例えばこれから長期計画を立てるにしても何にしても、これは必要ないのではないかと思います。庁舎の位置については、これから住民の皆さんのいろいろな意見を頂きながら、大多数の方々の合意を得て、決定をしていくということになります。

○司会

他にご発言のある方いらっしゃいますか。

○住民

2ページの基本構想、これは私なりに理解致しました。基本理念、方針、庁舎の建設位置について納得しましたので、この先、基本計画、基本設計、この段階に早めに進んで頂きたいと思います。以上です。

○司会

他にご発言のある方。後ろの方どうぞ。

○住民

先程の、前の方の意見に関連して質問します。旧天間林の住民の方とお約束したのは口頭ですか。口頭約束ですか。それとも何か議事録か何かで整理されて、文章などで残っているのですか。そこをはっきり知りたい。

もし議事録などの文章で残っているのであれば、その中には未来永劫、本庁舎は天間林地区と

するとか書かれているのでしょうか。教えて頂きたいと思います。

○町長

合併協議会というのは、いろんな分野に分かれて、それぞれに委員が出て協議をしました。その議論の内容や協議の内容については議事録を全部取っておりますが、永久的とか、そういった文言はありません。しっかりとした議事録はあります。

○住民

庁舎の図面が出来た時、こういう形、イメージの庁舎にしたいとした時に、できれば住民も参加する形にしたいので、A案またはB案など、コンペの実施について検討してもらえないか。A案とB案、こういうデザインと、こういうデザインについて、住民の皆さんはどちらを望みますかと。あの国立競技場も作る時にはコンペがありました。あのような形で、これから先、何十年も使う役場は、俺たちが選んだ役場だと言えるように。大まかにでもいいです。丸い建物と四角い建物を二つ並べて、さあ皆さんどちらにしますか、という形のコンペがあればいいと思います。

○事務局

只今の意見、要望として受けておきます。今後、どういった契約方法があるとか、提案型とか、そういった進め方などがありますので、その辺りは検討事項とさせていただきます。貴重なご意見、ありがとうございました。

○住民

おととい、天間林地区での説明会に参加させてもらった者です。その時には、いろいろな話が出ました。本来であれば、今日の検討会の時に、第一日目の説明会の時にはこういう意見がありましたと、それに対してはこういう答えです、というような流れで作って頂いた方が良かったのではないかなと思います。

それから昨日の朝刊、東奥日報の記事ですけれども、これにはおとといの説明会の中身は一切書かれていないわけです。あくまで町が出した基本計画、基本構想、それは書かれています。ですが先程来出ている通り、庁舎をどこに配置するかという、場所の問題が結構大きな内容になっていたはずですが。こういう新聞などの公共的な報道機関は、公平に意見を上げるといのが鉄則です。ところがこれを見ると町の意見だけが載っています。こういうのはちょっと、今日の説明会とは関係ないのかもしれませんが、少し問題だなと思います。もし今日、報道機関の方が来ているのであれば、反省をして頂きたい。

それから、この記事の中に、財政課さんからのお話で、本年度中に町長の諮問機関にあたる、町内の各団体の代表などで作る検討委員会を設置する方針、とありました。各団体というのがどういうものなのかははっきりとは分かりませんが、この団体が、仮に、ですけれども、町の意見に迎合するような団体の代表が集まったって何の意味もないわけです。先程来、皆さん意見を出しあっていますけれども、町民からの意見が上がっていかなければ駄目だと思っています

ので、この諮問機関については、例えば、公募をする、個人の公募、それをまた抽選をかけて、公正な人選の確保、そういう形で諮問機関を作って頂きたいと思います。以上です。

○事務局

今後、7月以降に検討委員会を設置します。今回の意見を参考に、検討させて頂きたいと思います。

○司会

他に発言がなければ、これで質疑を終了させて頂きます。これを持ちまして住民説明会を終了致します。本日はご参加くださりましてありがとうございました。